



SDGs  
未来都市  
とよた

# 「ミライのフツ-」をつくる 豊田市のチャレンジ

豊田市企画政策部 安田 明弘

# 豊田市の取組み

交通モデル都市

2009.1選定

環境モデル都市

2018.6選定

SDGs 未来都市

ミライのフツールをつくらう

2010.4設立

豊田市  
低炭素社会システム推進協議会

2016.10設立

豊田市つながる社会  
実証推進協議会

# 豊田市つながる社会実証推進協議会

設立日 2016年10月12日

会員

72団体 (2019年10月末現在)

会長：豊田市長

協議会の特徴

- ① AI・IoT等の先進技術を活用し、社会課題の解決を図る
- ② 民産金学官の連携
- ③ 国内外への横展開
- ④ 地方創生推進交付金の活用
- ⑤ 総合特区の推進母体
- ⑥ 地方版IoT推進ラボの推進母体

豊田市未来都市研究会  
(2018.1~11月)

中部電力、トヨタ自動車  
名古屋大学、三菱UFJ銀行  
豊田市 計5者

ビジョン  
提示

50年後の将来都市像と今後10年間の取組の  
方向性をビジョンとして描く



つながる社会  
TOYOTA CITY

豊田市つながる社会  
実証推進協議会

資源・エネルギー  
の地産地消

【地産地消型エネルギーマネージメント】  
【スマートタウングリーングリッド】  
【熱・水素】  
【下水熱・小水力】



超高齢社会  
への対応

【まちづくり団地再生】  
【ロボット(介護)】  
【健康情報】



交通安全の  
推進

【小型EV/非接触充電】  
【小型軽量シニアカー】  
【超小型パーソナルモビリティ】



AI/IoT/ビッグデータ

【山間地での地産地消モデル】



【官民データ連携・活用モデル】



【誰もが安全・快適な移動モデル】



# エネルギー関連実証事業

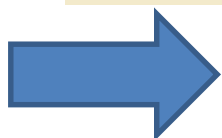
実証事業総数：31件のうち、エネルギー関連は9件

	実証テーマ	参画会員
1	地域電力による地域サービス	三河の山里課題解決ファーム、中部電力
2	新型超小型普通充電器	三井物産、ジゴワッツ
3	SDGsとよた再エネチャレンジ	中部電力、トヨタ自動車、日本自然エネルギー、ユーピーアール
4	V2Gアグリゲーター	豊田通商、中部電力
5	VPP	中部電力、トヨタ自動車、トヨタエナジーソリューションズ、デンソー、東邦ガス、アイシン精機
6	蓄熱輸送体	トヨタ自動車、中部電力、東邦ガス
7	小水力発電	豊田高専、小島プレス
8	下水熱利用	積水化学
9	水素利活用	トヨタ自動車、中部電力、東邦ガス、東芝

# たすけあいプロジェクトとは・・・

高齢者を含むすべての人が、住み慣れた場所でその人らしく最後まで暮らすことができるよう、健康維持のための「見守り」「外出促進」とそれをつなぐ「移動」を総合的に支援

(名古屋大学・豊田市・足助病院・地域住民による共同実施)



- ・安全で自由な移動
- ・地域で安心して暮らすためのコミュニティの構築

“自立”と“つながり”で支え合い、豊かさを創造する地域

目指す姿

山村地域等

豊田市つながる社会実証推進協議会

(一社)三河の山里  
課題解決ファーム

中部電力 (株)

豊田市

実証に関する協定

設立・  
運営支援

新サービス  
の開発、実証

地域サービスの普及・定着に向けた調整

地域サービス事業の実証

(株)三河の山里  
コミュニテイパワー

事業内容

- ・たすけあいプロジェクトの継承、発展
- ・新たなサービスの開発、実証、展開
- ・対象地域での電力の小売事業
- ・再生可能エネルギーの普及促進

地域住民・企業等

# 【EV、PHVの活用】

## <とよたSAKURAプロジェクト>

災害時における次世代自動車の有用性を見せる化、防災意識の向上と次世代自動車の普及促進を実施



市内で開催される様々なイベントに参加、外部給電の実演を通じてPR

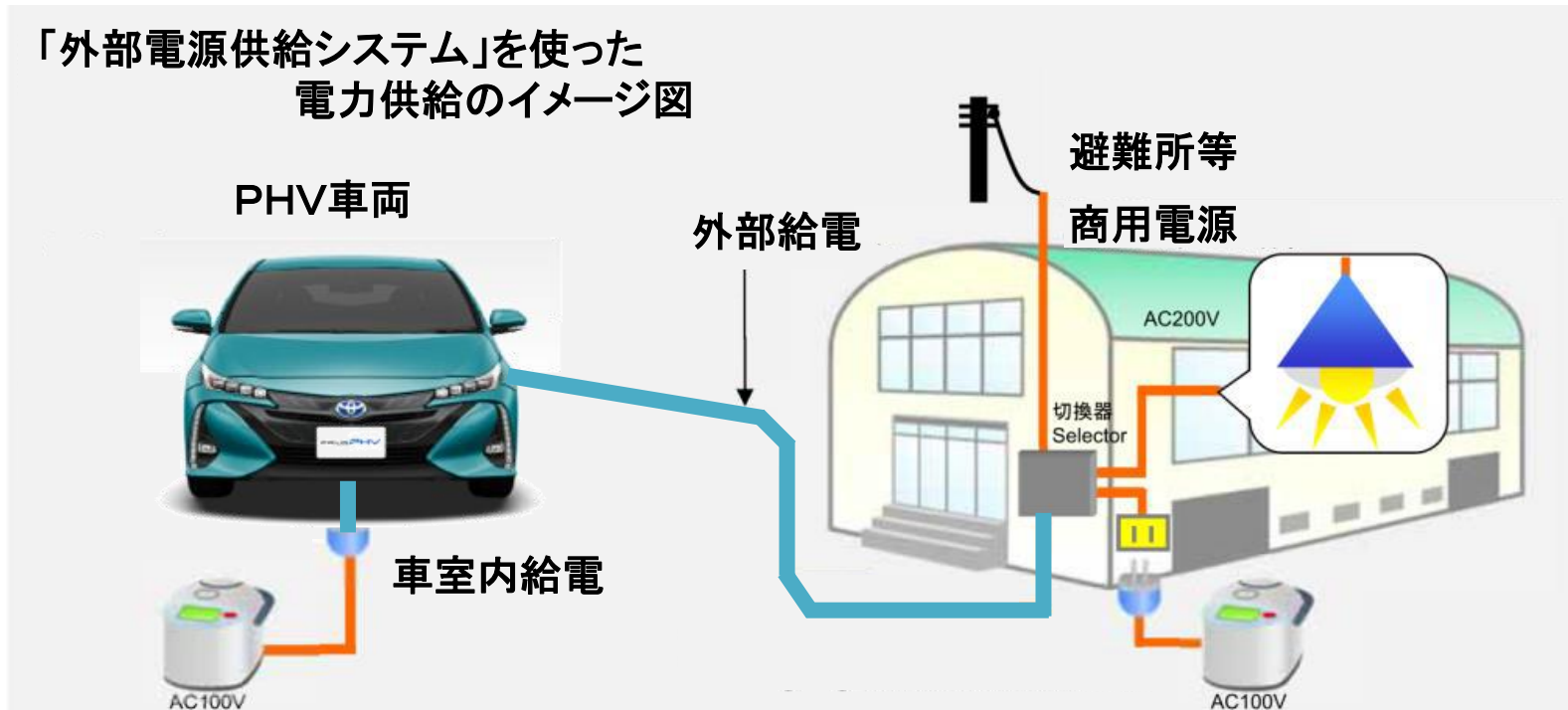
H30年度は20回のイベント参加

(防災キャンプ、選挙移動投票所への給電含む)

# 【EV、PHVの活用】

## ＜災害時の機能向上＞

避難所への公用車等(PHV・FCV・FCバス・EV等)による外部電源供給  
及び給電設備の整備



大規模地震等の災害時に応急対応として、市内の避難所等において、プリウスやFCVやEVなどから電源供給を可能にする外部給電設備を設置するとともに、公用車等による外部電源供給の体制を整備し、実際の対応を想定した訓練を実施  
⇒ 25か所の避難所へ接続設備を設置予定（11か所設置済み）